

会 議 録

1 会議名

平成28年度第16回直江津区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【諮問事項】

上越市厚生北会館の廃止について（公開）

【自主的審議事項】

直江津まちづくり構想について（公開）

3 開催日時

平成29年2月8日（水）午後6時00分から午後7時22分

4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 青山恭造（会長）、竹内明美（副会長）、増田和昭（副会長）、
泉 秀夫、伊藤邦雄、今川芳夫、河野健一、久保田幸正、小林克美、
田中美佳、田村利男、田村雅春、中澤武志、丸山朝安（欠席4名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、荒木係長、星野主事
教育委員会：高橋教育部長
体育課：佐藤課長、石田係長

8 発言の内容

【関川センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【青山恭造会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：中澤委員、増田副会長に依頼

議題【諮問事項】上越市厚生北会館の廃止について、担当課へ説明を求める。

【教育委員会：高橋部長】

- ・挨拶

本日は、「上越市厚生北会館」について諮問させていただく。

私が高校に通っている時代には、上越文化会館、総合体育館、リージョンプラザ上越、レインボーセンター等の施設が無く、厚生北会館において、いろいろな催し物がされており、直江津の皆様にとって大事な施設ということを実感していた。現在は、体育施設として位置付けられているが、それだけではなく、直江津の象徴の一つだと思っている。

今回は、「廃止」ということで諮問させていただくが、皆さんのお気持ちは十分分かっているつもりである。

御案内のとおり、厚生北会館は大変老朽化しており、危険だということを、これまで、関係町内会の皆様方を含めて、いろいろな方にお話しさせていただいた。その中でも、現在利用されている方々については、今後も活動が継続できるような手立て等も含めてお話させていただいた。

廃止した後の話も出ると思うが、今現在は、周辺に新水族博物館や、新保育園も設置される予定である。地域が大きく変わり、道路も整備されるということで、人の流れも変わってくると思う。

また、観光面では、屋台会館の活用方法についても、担当課で検討が進んでいると聞いている。

今後、何年かで周辺が大きく変化する状況を踏まえ、厚生北会館の跡地をどうするのかは、単純に何かを新設する、ということではなく、ゾーン全体としてどのようにしていくのか、これは市としても大きな課題であり、今後、町内の皆さんと一緒に考えていきたいと思っている。

この後、体育課から説明させていただき、その後、皆さんで議論していただこうと思うが、よろしくお願ひしたい。

【体育課：佐藤課長】

では、諮問の内容について説明させていただく。

- ・資料No.1に基づき説明

【青山恭造会長】

説明に対し、意見等はあるか。

【田村雅春委員】

何点か伺いたい。

一点目は、利用形態として、催し物等の利用もあるが、開館当時から体育課が所管する建物だったのか。

二点目は、昭和56年に耐震基準が新しくなり、耐震基準をクリアしていないということだが、何故、そこまで放っておいたのか。その説明が何もない。

三点目は、平成26年の「公の再配置計画」の際、いろいろな議論があったと思うが、我々はそれを知らない。そして、建設から56年間、補修はどのようにやってきたのか。時々によって、「3か年計画くらいで、こうやって直します」等の議論があったのかどうか。

四点目は、「直江津区の住民の生活に及ぼす影響」について、諮問されている。単に「古くなったから廃止」というのは、少し違うのではないか。

【体育課：佐藤課長】

一点目の所管課についてだが、手元に資料がなく断定はできないが、当初は、社会教育課の所管だったと思われる。

二点目の耐震基準については、昭和56年（1981年）5月に変わったが、市でこれまで順次行ってきた調査の中で、その時々で必要な修繕等を行い、維持管理してきた。

三点目のこれまでの補修については、平成26年度に「公の施設の再配置計画」が策定された。平成25年度には当施設の耐力度調査を行っており、その際に「耐震補強は難しく、改築も困難な建物と診断された」ことを踏まえ、維持修繕をしながら、この間、対応を検討してきた。

四点目については、老朽化が進んでいることから、安全性の確保を優先し、まずは「廃止」をさせていただきたいと考えている。

【田村利男委員】

参考資料1の1ページ目の下のほうに「近年では老朽化とともに利用される機会もなくなり…」と書いてあるが、私たちは利用したいが、「利用しないでください」と言われた。公民館活動も、学びの交流館だと狭く、文化展覧会を開催することは難しい。2年程前、社会教育課に利用場所を聞いたところ、「カルチャーセンターへ行ってください」

ということだった。直江津区の住民が有田区まで行くのは、特にお年寄りは大変である。

そして参考資料2ページ目の「4 今後の方向性」内に『施設除却後の跡地については、文化・教育ゾーンとしての機能が充実してきていることから、近隣の公共施設等の利用実態や地域の生活実態の変化を見極めながら活用方法を整理していくこととし、将来的な活用を見据えたタネ地（更地）として残すものとします』とあるが、実態は、私たちは有田区まで行っている。

それと参考資料の2ページ目の下のほうに「直江津地区の皆さんの利用は、全体の3割程度に止まっている」とあるが、利用しないでほしい、ということだから、こういう数字になってしまう。

【教育委員会：高橋部長】

体育利用以外に一部、文化的な利用もあるので、何故、「利用しないでください」とお伝えしたのかは不明である。

【田村利男委員】

私が聞きたいのは、今までやっていたことを、何故有田区のカルチャーセンターへ移したのか、ということである。

【教育委員会：高橋部長】

経過については把握していないが、今までやっていたことが、何かの理由でできないということなのかもしれない。物理的な理由はないと思う。

教育委員会へ持ち帰り、公民館を所管している社会教育課へ確認しておく。

【青山恭造会長】

田村利男委員の意見については、2年程前のことで、すぐに答えは出ないと思うので、一旦保留にしたいと思う。

【田村雅春委員】

先ほどした質問についてだが、56年前から今まで、どのような議論をしてきて、補修も含めてどのような対応をしてきたのか、経過を資料として出すことはできるか。維持管理が難しくなってきたから廃止、という論理になってきている。行政としてきちんと維持管理してきたらと思うが、それが全く見えてこない。

五智公園を更地にする時にも、いろいろな意見が出ていたと思うが、その後整備されていない。

立地が良い場所を、ただ更地にして駐車場にするだけでは、皆困ってしまうのではな

いか。廃止にした後の計画をきちんと立てていただかないと、ただ、「廃止」だけでは納得できない。

【教育委員会：高橋部長】

前段の質問についてだが、56年間という長い期間の中で、当然、いろいろな修繕はしてきた。ただ、56年前の資料を全てお示しするのは難しい。だが、厚生北会館に限らず、公の施設の維持修繕は、毎年チェックしながら、必要なものについては、予算付けをしながら対応している。それが、どんな施設に於いても永代維持できるか、となれば難しい部分もある。

いずれにしても、利用に不便を掛けないよう、安全性を確保するための対応をしてきたことは間違いないと思っている。

次に跡地の問題について、様々な皆さんから、いろいろな意見をいただいた。ただ、先ほども申し上げたとおり、当該地周辺の環境が、ここ何年間かで大きく変わる。予算が付くものもあるし、実態を見なければ分からないこともある。今後の状況の変化を見ながら、どういったものが必要なのかを考え、皆さん方の意見を聴きながら具体的な方向へ進めていければと考えている。

【田村雅春委員】

厚生北会館の今までの経過の資料についてだが、遡られところまで遡っていただき、会議録等の資料を示していただきたい。そこからスタートではないか。

【青山恭造会長】

近隣町内会としての意見だが、56年間、今の状態のまま来たのではなく、瓦が落ちたり、壁が落ちたりしたのを修理しているのを見てきた。そのままにして今まで来たわけではないことだけは理解していただきたい。

【教育委員会：高橋部長】

会議録についてだが、特段、何か記録を取って進めていた訳ではなく、内部での議論、財政課との予算付けの話し合い等で決まっていくので、改めて会議録を作った、ということはないと思う。

【関川センター長】

今回の諮問は、「施設を廃止することについての諮問」である。過去のことが分からなければ答申できない、という意見も分かるが、その辺は斟酌していただきたい。

【泉委員】

田村雅春委員の言っていることも分かる。だが、56年前と言うと、建築基準が、昭和56年に変わっている。だから、構造物そのものの強度がない限り、物理的には無理である。その部分が資料の中に出てきていないが、昭和56年に改訂されているため、該当しないのではないか。

【中澤委員】

何年か前に、体育大会の計画があり、雨天時は、厚生北会館を利用する話が出ていた。その際、安全面が確保されないのではないかと、ということで別の場所でやることとなった。安全面を考えればもう施設の維持管理は、無理なのではないか。壊すほかないと思っている。

【田村利男委員】

先ほども言ったが、何故、カルチャーセンターに行かなくてはならなくなったのか。納得できない。

【伊藤委員】

2年前、各公民館の再配置計画の説明があった時に、当時の直江津区の公民館はカルチャーセンターという話をしていたので、カルチャーセンターを案内したのではないか。

【教育委員会：高橋部長】

公民館活動については、今も、いろいろな形で再配置はあるが、基本的には、「活動の場をなくさない」ということを大前提にやっている。その上で、物理的に狭い、ということであれば、他の施設で対応できるかを検討する。

田村利男委員からの意見については、持ち帰り、再度確認させていただきたい。

【小林委員】

今まで、「公の施設の見直し」や「耐震強度」等の問題を調べてきたのだと思う。だが、一つだけ腑に落ちないのは、何故、唐突に、廃止を急いでいるような感じになっているのか。平成29年度予算で予算付けするために、3月議会で廃止を決定しておかないと予算が出ないというような、いかにも慌ただしい感じがする。その辺の背景が疑問である。

【体育課：佐藤課長】

この案件を皆様方へお示ししたのは前回の会議だったが、この間、公の施設の再配置計画で出された時から検討してきた。ただ、今後の跡地の使い方について、具体的な整備の結論までは至らなかった。

周辺には新保育園、新水族博物館ができる予定で、随分状況も変わってきているので、ある程度、利用状況を見極めた中で、改めて、皆様方から意見を伺いながら、市として、跡地の利用方法として良いものを考えていかななくてはならないと思っている。

【教育委員会：高橋部長】

老朽化が進んでおり、改修が困難である、ということが根底にある。とは言え、「いきなり廃止」という訳ではなく、利用されている方々への説明や、一定の期間、あるいは、具体的な代替施設はどこがいいのか、ということを検討している。一方で、教育プラザの体育館の改修も行っている。

利用される方々に負担が掛からない方法を考えながら検討してきた結果を説明させていただいている。唐突と感じさせてしまっているのならば、もう少し早くから説明する必要があったかと思うが、周辺の安全性を含め今回説明させていただいた。その辺は御理解いただければと思う。

【伊藤委員】

いろいろな意見があると思うが、財政難の中、いろいろと見直している。その中で、国からの合併特例債等との兼ね合い中で、この時期だと判断されていると思う。

話が違うが、上越斎場や新保育園の話等、市として結論を出さなくてはならない話がある中、優先順位を考えると、ある程度手直し（修繕）ができないものについては、廃止し、解体して、とりあえず更地にするのだと思う。その後の活用方法については、その後に考えることとし、早めに結論を出さないと、時間を掛けても、建物はどんどん駄目になっていく。

現水族博物館はサイクルモノレールがあったが、それを廃止するための説明に来た際、レールや乗り物が古くなってきたので、修理しながらやってきたが、結局は撤去となった。では「新水族博物館ができるなら、現水族博物館を解体する時に一緒にやったらどうか」と言ったが「先にサイクルモノレールを壊さなければ他の構造物に影響が出る」と説明があった。やはり順序というものがあると思うので、財政を考えた中で、合併特例債が使えるうちに活用しようと考えているのだと私は思っている。

【青山恭造会長】

では、他に意見等がないようなので、諮問のとおり適当と認める、という方は挙手願う。

(11名挙手)

では、「適当と認める」こととする。

次に附帯意見についてはどうか。

【泉委員】

附帯意見については、先回の会議で出た意見を考えると、「その後」についてどうあるべきかだと思う。資料No.1の参考資料1の2ページ目に「4 今後の方向性」に『教育委員会だけではなく、市の企画部門や産業観光部門、健康福祉部門などの周辺施設を所管する担当課と連携を図り、まちの将来像も含め、地元住民や地域協議会等の意見を伺いながら検討していきます』と書いてあり、配布された資料については、会議録と共に残ると思う。私はそれだけで十分だと思っている。

【青山恭造会長】

参考資料の文書が生きていれば附帯意見を付けなくてもいい、ということだが、皆さんはどうか。

【田村雅春委員】

「廃止後、速やかに」という言葉を一文入れていただきたい。

【増田副会長】

前回の会議でも言ったが、「すぐ何かを造る」ではなく、全体的に当該地周辺の雰囲気が変わってくるので、その時は、地域の皆さんや地域協議会の意見を聴き検討する、と資料に記載されているので、その通りにやっていただければそれでいいのではないかと。時期についても、住民の方や地域協議会の意見を聴く、という担保があるので、あえて、その言葉を入れなくてもいいと思っている。

【青山恭造会長】

それでは、諮問に対し、「適当と認め、附帯意見はなし」ということで結審したいと思う。

以上で「諮問事項」について、終了とする。

— 教育委員会、体育課 退室 —

次に【自主的審議事項】直江津まちづくり構想について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

10月から11月にかけて開催した3回の「直江津のまちづくりを話し合う会」が終了し、参加者からいろいろな意見をいただいた。12月20日の第14回地域協議会で配布済みの「直江津のまちづくりを話し合う会 意見分類表」は、今後の協議のたたき

台にさせていただきたい。

今後の進め方として、第15回の会議において、協議会で取り上げる課題をピックアップし、担当課へ内容を確認しながら進めていったらどうか、と言う意見が出ていたが、すぐに課題を整理するのは難しいと思っている。

そのため、先に市の施策等を把握した上で課題を整理するため、「勉強会」を実施したいと考えている。勉強会の項目として委員からの意見が多かったのは「観光関係」、次いで「都市整備関係」であったため、はじめに「観光関係」から勉強会をしたらどうかと考えている。意見分類表の中でも観光要素が多く占められていたので、担当課から、「観光振興計画」の内容など「市の考え方」を聴き、意見交換ができればと思っている。

以上のことを踏まえ、今後の進め方について協議させていただきたい。

【青山恭造会長】

はじめに、「直江津の観光について、行政はどのように考え、どのような計画があるのか」を勉強する。それによって、直江津の将来像が見えてくるのではないかとと思っている。皆さんが思うところは他にもあるかもしれないが、第1回目は「観光面」で、次に「都市整備」等で良いと思う。

現在の直江津を取り巻く現状は、新水族博物館の建設現場周辺で道路工事等が盛んに行われている。今日も、直江津中等教育学校のグラウンドにある支柱を1m程、東側へ動かす工事をしていた。それによって、当地域協議会でも意見が出ていたが、イトーヨーカドーの交差点から北側へ向かう道路が広がる。そして、昨年度に当地域協議会から意見を出していた海浜公園のトイレ整備や海浜公園のトイレの北側に、子ども達が水遊びできるような施設をつくることを考えていると、市の担当課から近隣3町内（御幸町・塩浜町・浜町）の町内会長と私に説明があった。

委員の皆さんが全ての情報を知っている訳ではないので、勉強会をしながら、皆さんで共通認識を持ち、前に進めていきたいと思っている。

はじめに「観光面」ということで、一つひとつ進めていけば行政の考え方も分かってくると思うので、「直江津駅前はどうなっているのか」、「法律的なものはどうか」、「JTの跡地問題」等、委員全体で勉強していきたいと思っている。

【小林委員】

直江津区にある、国や県、市の文化財がどのような形であるのか、是非、博物館の学芸員さんに話をしてもらいたい。勉強会の中に組み込むことはできるか。

【青山恭造会長】

非常に高度な話になると、前もって、質問事項を出しておかないと難しいと思う。

具体的に取り上げたいことはあるか。

【小林委員】

直江津区に特化して言えば、市の指定文化財と十念寺にある五輪塔とかで、そんなになんもないと思う。

【青山恭造会長】

勉強会までに、「これが知りたい」というのがあれば、事務局に伝えていただくと、事務局も準備しやすいと思う。

他にあるか。

【泉委員】

はじめに、行政の考えが分からないと進まない。いろいろなことを取り上げていくと混乱してしまうのではないか。

【青山恭造会長】

地域協議会の任期は、まだ3年あるので、いろいろなことを繰り返しながら進めていきたい。

他に意見がないので、この件については終了とする。

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

勉強会については、時期も含め、事務局で調整させていただく。

【中澤委員】

確認だが、勉強会は全員でやるのか。小林委員が言ったように、まず、市の観光振興課では、どのような問題があるのかを聞かせていただき、意見交換を行う、というところから始めてはどうか。要するに、何を主にして話し合いをしていくか、というところを決めておく必要があるのではないか。

【青山恭造会長】

行政側が「観光施策」をどう考え、その施策に対する直江津区の関わりはどうかになっているのか、ということだと思う。

【増田副会長】

行政は「第5次観光振興計画」を作成したが、それについて、昨年、当地域協議会で

「直江津区の観光として、このような取組をしてはどうか」と提案した。それを踏まえて「直江津区の計画はこう考えている」というようなことを含めて、話を聞きたいと思っている。

今年、新しく委員になられた方たちは、この計画について把握されていないと思うので、足並みを揃える、という意味からも、第1回目は、観光振興の全体像を把握していきたいと考えている。

【青山恭造会長】

では、他に意見がないので、これについては以上で終了とする。

引き続き、「その他」について、事務局へ説明を求める。

【荒木係長】

- ・視察研修の実施について説明

候補先：群馬県富岡市・新潟市秋葉区新津・三条市

まずは、行き先を決定していただきたい。

【青山恭造会長】

視察先を挙手にて決定したいと思う。

群馬県富岡市：5名

新潟市秋葉区新津：5名

三条市：3名

（富岡市と新津が同数のため、富岡市と新津で再度挙手）

群馬県富岡市：7名

新潟市秋葉区新津：6名

では、群馬県富岡市で決定とする。他の行き先は、次回の視察先の候補としたい。

時期的には、4月は地域活動支援事業の採択審議等があるため、5月以降でなるべく早い時期に行きたいと思う。

【荒木係長】

3月11日（土）午前10時から「地域活動支援事業 募集説明会」を開催する予定である。その際、今年度の提案団体の方々から事例発表をしていただきたいと考えている。

昨年は4事業の提案者の方々（クリーンナップ上越 in 五智、福島城の顕彰事業、佐渡寒ブリ祭り事業、八幡宮公園の憩いの場・癒しの場づくり事業）から発表していただ

いた。今年の候補として「五智公園の整備事業」、「なおえつ物語事業（三八朝市周辺まちづくり協議会）」、「100kmマラソン直江津おもてなしプロジェクト事業」を考えている。

発表団体について決めていただきたい。

【青山恭造会長】

発表団体については、事務局にお任せする。

【荒木係長】

- ・次回協議会の事務局案：2月21日（火）

【青山恭造会長】

— 日程調整 —

- ・次回協議会：2月21日（火）午後6時から

【青山恭造会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。